

福島県特別支援教育推進プラン【2024 年度版】

〔基本理念〕「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進

目指す特別支援教育の姿は、障がいのある子ども一人一人のニーズに応じた教育を、地域の幼稚園等、小・中学校、高等学校、特別支援学校で行うことであり、関係機関とのより一層の連携を図りながら、特別支援教育を推進、充実させていくことを目指すものである。

〔本県の現状と課題〕

- ① 特別な支援を必要とする児童生徒
 - ・小・中学校の通常の学校に在籍する特別な支援が必要な児童生徒 小 7.1% 中 4.0%
 - ・高等学校に在籍する特別な支援が必要な生徒 2.4%(H30 本県調査)
 - ・小・中学校の特別支援学級在籍数の増加 (R5:R4 比 449 名増) H19 比約 3.5 倍ノ
 - ・進級による指導を受ける児童数の増加 (R5:R4 比 183 名増) H19 比約 4.2 倍ノ
 - ・支援の必要な幼児児童生徒に対する個別的教育支援計画の作成・活用が課題
- ② 市町村における支援体制の整備
- ③ 各学校における指導支援の充実
 - ・特別支援教育コーディネーターを中心とした校内研修の実施やケース会議の開催など
 - ・特別支援学校高等部卒業生の就職率 (本県 R5 卒業生 26.8% 全国平均 30%程度)
- ④ 特別支援学校の整備充実
 - ・長時間通学の負担軽減、校舎の老朽化・震災で避難した学校への対応

〔本県の取組〕

〇〇歳から卒業後までの切れ目のない支援を行います。

- ・ふくしまの誰一人取り残さない教育体制整備事業

〇関係機関と支援の輪を築きます。

- ・誰一人：地域支援体制整備事業（地域支援チーム戦略・連携会議）
- ・特別支援学校における医療的ケア実施事業

〇児童生徒が充実した学校生活が送れるよう支えます

- ・特別支援学校 24 校に地域支援センターを設置
- ・特別支援学校 10 校の地域支援センターに特別支援教育アドバイザー（各 1 名）を配置
- ・病弱特別支援学校 2 校の地域支援センターに入院児童生徒支援員（各 1 名）を配置等

〇一人一人の自立と社会参加を目指します。

〇教員の専門性や資質の向上を図ります（個人の学び）

- ・誰一人：特別支援教育研修推進事業（特別支援教育センター）
- ・研修の充実（特別支援教育センター）
- ・教育相談の充実
- ・福島大学教職大学院との連携
- ・特別支援学校教諭免許状保有率の向上

富岡支援学校の双葉地区での再開（双葉支援学校、令和 6 年 4 月）

〔学習環境の整備〕安達地区特別支援学校の整備（令和 7 年度開校予定）

南会津地区特別支援学校の整備（令和 8 年度開校予定）



2025 年 5 月 25 日 第 24 号

発行責任者：会長 牧野和江

福島県重症心身障害児(者)を守る会

いわき市江畑町小能田 40-2(富岡方) Tel:0246-63-3431

気づき

福島県重症心身障害児(者)を守る会
会長 牧野和江



うららかな春の日差しが心地よいこの頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

先日「守る会」へ順天堂大学大学院医療看護学研究科博士後期課程 3 年 作間弘美さん(医療創生大学看護学部基礎看護学 准教授)から「重症心身障害児が同胞にいるきょうだいの役割を受け入れるまでのプロセスー役割受容をサポートする支援モデルの開発ー」というテーマで重症児のきょうだいへ協力依頼がありました。

何故このようなテーマに着目したのか、何故障がいに興味を持ち看護の道に進んだのかなど色々なお話をお聞きました。

私の障がいのある子どもにも姉妹がいます。

大人になって小学校の頃こんな嫌な事があったんだよ、、、と話をしてくれたことがあります。思いもしていなかった話にビックリし、きっと当時の私に言ったら「ママが可哀そう…」と小さな胸の奥にずっとしまっていたのでしょう。そしてその事を言葉にするには長い月日の“時間”という薬が必要だったのだと思います。まだ小さかった娘のあの頃の日々を思い出すと胸が痛みます。もうあの頃に戻ることは出来ないけれどこれからの時間を後悔のないよう姉妹同士、親子としてのかかわりを大切に過ごしていこうと改めて考えさせられました。

今回、作間さんとの出会いはとても有難く、私に大きな気づきを教えてくれました。私たち「守る会」でやるべき事は地域の方々とかかわりを持ち障がいについて理解を深めてもらう事、特にこれから社会を担うであろう若い世代に重症心身障がい児(者)と出会ってもらう事が一番大切な事ではないでしょうか。

かけがえのない命、一生懸命に生きている命、みんなと同じ愛されている命を多感な時期に見てもらい心で感じてもらう事こそが、私達の理想とする社会全体に守ってもらえる、共に笑いあえる社会作りの一歩に繋がっていくのではないのでしょうか。

いわき病院と同じ地域に有る大学とのこの出会いは、きっとこれから何らかの形で私たちの子ども達と若い世代とをつなぐ架け橋になってくれると期待を膨らませます。

出逢いの春、今年もまた「守る会」の大きな輪の中で一人ひとりがそれぞれの役割を意識しながら思いがけない素敵な気づきと出逢うためにみんなで街へくり出しましょう～♪



【やってみせ】

山本五十六の名言「やってみせ、言って聞かせて、させてみせ、ほめてやらねば、人は動かじ。話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば、人は育たず。」やっている、姿を感謝で見守って、信頼せねば、人は実らず」。

日本人の国民性として自ら役員に手を挙げる人はまずいないのが現状で、2 年任期の役員改選期、毎回頭を悩ませる事案です。

「やってみせ」すでに役員としてやっている姿は見せているはず。

「言って聞かせて」なぜあなたにお願いするのか。

「させてみて」役員を担ってもらうことをしなければいつまでも育たないのでは…。

東北のハワイ・スパリゾートハワイアンズ(支部活性化事業・日帰り遠足) 在宅 新後 富子

11月3日、ハワイアンズ遠足に親子3人で参加させて頂きました。フラガールさんたちの可憐な踊りと眩しい笑顔、勇ましいファイヤーダンスに子どもたちも大興奮！ドーム内の熱気で汗をかきながら楽しみました。休憩室では体をリラックスさせ、みなさんから守る会の活動などの、お話もお聞きしました。

家族で慣れた場所に行くのも楽しいですが、このようにみなさんと一緒にお出かけし貴重な体験が出来て感動で胸がいっぱいです。ありがとうございました。



研修会に参加して、思うこと。

在宅部会 三橋さゆり

令和6年12月7日(土)・8日(日) 東北ブロック在宅部会・母親部会 研修会&懇親会が、山形県山形市に於いて開催されました。私は初日の研修会のみでしたがZoomにて参加させて頂きました。

研修会では、仙台エコー医療療育センター院長の天江新太郎先生より『在宅支援におけるセーフティーネット』についてお話いただきました。参加会員は15名でした。

在宅支援のセーフティーネットとは、安定した在宅療養（地域での暮らし）をできるだけ継続するために必要な医療・福祉資源のことです。

重症心身障がい児者へのセーフティーネットに求められる機能としては、家族の休息（レスパイト）、本人の成長発達促進・体調維持、在宅が継続不能になった場合の安全確保です。

在宅支援における具体的なセーフティーネットは、主に3つに分けられます。

① 日常的セーフティーネット

- ・医療型短期入所
- ・訪問系居宅サービス
- ・通所（生活介護、児童発達支援・放課後等デイサービスなど）
- ・特別支援学校

② 医療的セーフティーネット

- ・小児移行期医療に対応するための受け入れ医療機関
- ・重症児者医療に従事する医師や看護師

③ 最終的セーフティーネット

- ・医療型長期入所

学校・福祉サービス事業所・病院、いずれも人手不足や財務的な事情などにより、重症心身障がい児者をとりまく環境は依然として厳しい状況にあると思います。

生活介護サービスでは、重症心身障がい者（※殊に医ケアあり）を受け入れる事業所が少ない上に、利用可能な事業所を併用しても週のうち数日しか使用できないことや、土曜・祝日の利用ができ



ないという現状があります。短期入所に関しても希望する日に利用できないなどの現実直面し、卒業後は家族の負担が大幅に増えることとなります。

それでも自分のできるうちはと在宅を望んでいますが、これからどのようにして※露命をつなぐのか千思万考の日々です。

では、どうすればセーフティーネットが充実するのか…。

「在宅支援のセーフティーネットを整備してもらうためには？」のトピックで、障害者福祉計画に盛り込んでもらうことが重要であると、天江先生はおっしゃいました。

障害者福祉計画は、厚生労働省による基本指針に即して市町村・都道府県が作成することになっています。福島県支部が当事者団体として、各自治体の策定委員となり関わる事ができれば、私たちの思いや実面を率直に伝えられると考えています。会の一員として その機会を手に入れることができるよう、これからの活動につなげていきたいと思います。

そしてこの春、娘は会津支援学校を卒業しました。その12年間を思い、ここまで元気でいられたことの幸せを感じています。

児から者へ、環境も大きく変わり「障がい者」としての新たな生活をスタートさせています。

ときどきわくわく（時々そわそわ）しながら、愉快活発に過ごすことができるよう心より願うばかりです。

みなさま、連休明けで疲れがたまる頃でしょう。くれぐれも体調に気を付けてお過ごしください。

またお会いできる日を楽しみにしています。

（※殊に（ことに）：とりわけ。特に）（※露命：露のようにはかない命）

《豆知識》

日本人は昔から言葉遊びが好きだったようです。長寿の呼び方にそれが現れています。例えば、米は八十八に分解できるので88歳を米寿と呼びます。百から一を取ると白となります。この為99歳を白寿と呼びます。この二つは大方の人が知っていると思いますが、半寿、茶寿、皇寿はなじみがないのでは！半寿は、八十一に分解できるので81歳【別に盤寿とも言います。将棋盤のマス目（9×9）＝81】茶寿は、十十八十八に分解できるので108歳。では皇寿は何歳か？上記をヒントに考えてみましょう。

人生百年時代。子どもの為に元気で長生きしましょう。

答：皇を分解すると「白」「一」「十」「一」となり111歳となります。

編集後記【紙面構成の都合でこの面へ掲載となりました】

福島県重症心身障害児（者）を守る会の令和6年度の活動は、在宅で日々障がい児と共に過ごしている方たちに、楽しめる企画を立案し無事に開催出来たことが成果に挙げられると思います。参加できた保護者の方からも「楽しかった」「また、参加したい」等の感想が聞かれました。施設見学の希望も聞こえてきています。

令和7年度の事業計画は、思案中です。今後理事会にて検討をしていきたいと思っています。【室】